



豊田市博物館 常設展示室 とよたモノ語り

豊田市博物館は、豊田市の歴史と人々の暮らし、それらを取り巻く自然について知ることができる総合博物館として令和6年4月26日に開館しました。運営コンセプトは「みんなで作りつづける博物館」。博物館に幅広い人々が集い、交流し、さまざまな活動をとおして「地域の歩みをうけつぎ、その魅力をさぐり、豊田市の人と未来をつくる」ことを目指しています。

常設展は、「とよたの自然と人々の営み」をテーマに、実物資料とともに映像やジオラマを用いて、豊田市の自然・歴史・文化を紹介しています。入口正面には高さ7.8mの展示棚があり、豊田市の多様性を感じることができる自然・人文資料を展示しています。また、さまざまな資料を観察できるコーナーやキッズスペースもあり、親子で楽しむことができます。

敷地には、江戸時代の農家を移築したむかしの家や観察池があり、隣接する豊田市美術館と一体のランドスケープも見どころの一つです。

目次

- 愛知県博物館協会 令和6年（2024）度総会のご報告 2
- 令和6年度東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部理事会及び総会のご報告..... 11
- 表紙館のご紹介 12

愛知県博物館協会 令和6(2024)年度総会のご報告

愛知県博物館協会の令和6年度総会が6月14日、名古屋市科学館において、参加館66館97名が出席するなかで開催された。当日の総会概要は以下のとおりである。

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 協会表彰

石田 泰弘 様（功労賞） 愛西市佐織歴史民俗資料室

伊藤 智子 様（功労賞） 旧 豊田市郷土資料館



表彰式風景

4. 議事

議長（会長 名古屋市博物館 館長 近藤 善紀氏）

議題

（1）令和5年度 事業報告および決算報告について

1 事業

（1）記念講演会の実施

日時 令和5年6月1日（木）15時45分～17時15分

会場 愛知県陶磁美術館 本館地下1階 講堂

演題 文化芸術への公的支援に対する市民理解の構造

—博物館の生き残り戦略を考えるにあたって—

講師 綿江 彰禪 氏（一般社団法人 芸術と創造 代表理事）

（2）職員研修会 1（愛知県博物館協会・東海地区博物館連絡協議会 合同研修会）

【担当：愛知県美術館・熱田神宮宝物館・長篠城址史跡保存館・豊田市美術館】

日時 令和5年11月7日（火）13時30分～16時50分

会場 碧南市藤井達吉現代美術館

テーマ 施設見学：リニューアル後の碧南市藤井達吉現代美術館

講師 木本 文平 氏（碧南市藤井達吉現代美術館 館長）
岩月 真由子 氏（碧南市藤井達吉現代美術館 学芸員）

参加者 19 名

(3) 職員研修会 2

【担当：岡崎市美術博物館・刈谷市歴史博物館・とこなめ陶の森・豊橋市美術博物館・徳川美術館】

日時 令和 6 年 2 月 9 日（金）14 時 00 分～16 時 00 分

会場 徳川美術館 1 階 講堂

テーマ 本当は奥が深い館内 アンケート-SWOT 分析を用いた作成と活用一

講師 立花 晃 氏（Akira Janssen 大和大学社会学部 社会学科 現代社会コース 准教授）

参加者 40 名

(4) 表彰

令和 5 年度 表彰者 なし

(5) 印刷物の編集・発行

・協会報「愛知の博物館」2 回 電子媒体発行

【担当 秋期：名古屋市科学館 春期：トヨタ博物館】

→通常通り発行。

秋期（令和 5 年 9 月 20 日 HP 掲載）・春期（令和 6 年 3 月 19 日 HP 掲載）

・「おでかけガイド」2 回発行

【担当 秋期：博物館明治村 春期：名古屋市博物館】

→通常通り発行。各 26,000 部

秋期（令和 5 年 9 月 29 日 HP 掲載）・春期（令和 6 年 4 月 1 日 HP 掲載）

(6) HP 運営

【担当：愛西市佐織歴史民俗資料室・一宮市三岸節子記念美術館・昭和美術館】

・Twitter 告知（担当：愛西市佐織歴史民俗資料室）

(7) 災害発生時の対応

【担当：会長館（愛知県陶磁美術館）・副会長館（トヨタ博物館）・前会長館（名古屋市科学館）・次期会長館（名古屋市博物館）・次々期会長館（愛知県美術館）】

・令和 5 年 6 月 9 日（金）午後 3 時 55 分一斉送信

※6 月 2 日（金）大雨による被害について

・令和 5 年 8 月 15 日（火）午後 4 時 00 分予約一斉送信

※台風 7 号による被害について

・令和 6 年 1 月 16 日（火）予約送信不備により午後 3 時 49 分一斉送信

非常連絡訓練（同時刻 愛知県全域 震度 5 弱想定）

・令和 6 年 3 月 8 日（金）加盟館へ結果報告を送信

(8) 他協会

・令和 5 年度東海地区博物館連絡協議会及び日本博物館協会東海支部総会

日時 令和 5 年 9 月 29 日（金）13 時 30 分～15 時 30 分 理事会・総会

会場 Webex ミーティングによるオンライン開催

・令和 5 年度東海三県博物館協会研究交流会

日時 令和 5 年 11 月 14 日（火）13 時 00 分～16 時 00 分

会 場 鳥羽水族館 4 階レクチャールーム
テーマ 「社会の変化と博物館の未来」 グループセッション
トークテーマ 1 「財源の確保」
トークテーマ 2 「人と博物館の未来」
トークテーマ 3 「これまでとこれからの資料収集」
鳥羽水族館自由見学 16 時 00 分～17 時 00 分
情報交換会 17 時 30 分～19 時 30 分

2 会 議

(1) 理事会

日 時 令和 5 年 6 月 1 日 (木) 13 時 00 分～13 時 45 分
会 場 愛知県陶磁美術館 本館 3 階 会議室

(2) 総会

日 時 令和 5 年 6 月 1 日 (木) 14 時 00 分～15 時 15 分
会 場 愛知県陶磁美術館 本館地下 1 階 講堂

(3) 実行委員会 随時 (年間 8 回程度)

第 1 回 日 時 令和 5 年 4 月 27 日 (木) 13 時 30 分～15 時 30 分
会 場 愛知県陶磁美術館 本館 3 階 会議室 (一部 Webex 併用)

本年度事業計画と役割分担、理事会・総会の日程及び会場 他

第 2 回 日 時 令和 5 年 5 月 25 日 (木) 13 時 30 分～14 時 30 分
会 場 オンライン (Webex)

本年度理事会・総会の内容及役割分担 他

第 3 回 日 時 令和 5 年 7 月 19 日 (木) 13 時 30 分～15 時 30 分
会 場 オンライン (Webex)

本年度理事会・総会開催報告、研修会、印刷物、HP、災害対策 他

第 4 回 日 時 令和 5 年 9 月 22 日 (金) 14 時 00 分～15 時 00 分
会 場 トヨタ博物館 会議室 (一部 Teams 併用)

職員研修会、印刷物、HP 運営、災害対策 他

第 5 回 日 時 令和 5 年 12 月 1 日 (金) 14 時 00 分～15 時 00 分
会 場 豊田市美術館 ワークショップルーム

職員研修会、印刷物、HP 運営、災害対策 他

第 6 回 日 時 令和 6 年 1 月 17 日 (水) 15 時 30 分～17 時 00 分
会 場 熱田神宮宝物館

職員研修会、印刷物、災害対策 他

第 7 回 日 時 令和 6 年 2 月 29 日 (木) 13 時 30 分～14 時 30 分
会 場 愛知県美術館 12 階アトスペース C 室

職員研修会、印刷物、HP 運営、災害対策 他

第 8 回 日 時 令和 6 年 3 月 28 日 (木) 13 時 30 分～14 時 30 分
会 場 徳川美術館 1 階 講堂

職員研修会、印刷物、HP 運営、災害対策、令和 6 年度理事会・総会 他

(4) 災害対策分科会 随時 トヨクモ安否確認サービス 2 掲示板 他

議題

(2) 令和6年度 事業計画(案) および予算(案) について

1 事業

(1) 記念講演会の実施

日時 令和6年6月14日(金) 15時45分～17時15分(総会と同日開催)

会場 名古屋市科学館 生命館地下2階 サイエンスホール

講師 桜美林大学 教授 浜田 弘明 氏

(文化審議会博物館部会 法制度の在り方に関するワーキンググループ 座長)

テーマ 「博物館法改正と学芸員」

(2) 表彰 愛知県博物館協会表彰規程に基づき、表彰を行う。

実施日 6月14日総会において表彰

(3) 職員研修会(企画展などの見学会を実施)

【担当:刈谷市歴史博物館・武豊町歴史民俗資料館・豊田市美術館・愛知県美術館】

時期 例年10月～11月頃(令和5年度は11月7日(火))

会場 未定

(4) 部門別研修会(調査・研究、教育・普及、保存・修復の研修会を実施)

【担当:岡崎市美術博物館・名古屋市科学館・博物館明治村・愛知県陶磁美術館・熱田神宮宝物館】

時期 例年12月～翌年3月(令和5年度は2月9日(金))

会場 未定

(5) 印刷物の編集・発行

・協会報「愛知の博物館」2回 電子媒体発行

【担当 秋期:トヨタ博物館 春期:徳川美術館】

・「おでかけガイド」2回 印刷発行・配布

【担当 秋期:稲沢市荻須記念美術館 春期:豊橋市自然史博物館】

(6) HP 運営

【担当:弥富市歴史民俗資料館・昭和美術館・新城市鳳来寺山自然科学博物館】

・HP 更新(案)の検討

・X(旧 Twitter)運用

(7) 災害発生時の対応

【担当:会長館(名古屋市博物館)・副会長館(トヨタ博物館)・前会長館(愛知県陶磁美術館)・次期会長館(愛知県美術館)・次々期会長館(名古屋市科学館)】

・トヨクモ安否確認サービス 2 プレミアプラン年間契約・非常時の情報収集

・非常連絡訓練(被災状況の共有(情報公開))

(8) 愛知県博物館協会 60周年事業

形態 シンポジウムまたはワークショップ

テーマ 自然災害への対応(仮)

時期 未定(令和7年1～2月頃か)

内容案 近年の自然災害に、博物館園はいかに対応すべきか。また被災後の長期的な見直しなどといった現実的な課題に即して考える機会とする。

(9) その他

- ・令和 6 年度東海地区博物館連絡協議会及び日本博物館協会東海支部総会
日 時 未定 例年 7～9 月（令和 5 年度は 9 月 29 日（金）オンライン開催）
会 場 未定（山梨県）
- ・令和 6 年度東海三県博物館協会研究交流会
日 時 未定
会 場 未定（愛知県）

2 会 議

(1) 理事会

日 時 令和 6 年 6 月 14 日（金） 13 時 00 分～14 時 00 分
会 場 名古屋市科学館 生命館 6 階 学習室

(2) 総会

日 時 令和 6 年 6 月 14 日（金） 14 時 30 分～15 時 30 分
会 場 名古屋市科学館 生命館地下 2 階 サイエンスホール

(3) 実行委員会 随時 年間 8 回程度 ※原則対面開催（オンライン併用）

議題

(3) 愛知県博物館協会公式 Twitter 運用ガイドラインおよび 愛知県博物館協会公式 Twitter 運用ポリシーの改正について

「X」への名称変更に伴う文言変更、および条項の整理をおこなった。

5. 報告

(1) 令和 6 年度 加盟館について

津島神社宝物館、豊田市博物館 が新規加盟した。
118 館加盟（令和 6 年 6 月 14 日現在）

(2) 東海地区博物館連絡協議会・東海三県博物館協会研究交流会について

令和 6 年度は、東海地区博物館連絡協議会は山梨県が会長、東海三県博物館協会研究交流会は愛知県が当番。

6. その他

(1) 愛知県文化財防災ネットワークについて

標題の事業構想について、愛知県県民文化局文化部文化芸術課担当者より、概要説明がなされ、質疑応答があった。令和 6 年度は準備会に事務局が参加する。

(2) 2024 世界自動車博物館会議について

アジアで初開催となる世界自動車博物館会議について、2024 年世界自動車博物館会議日本大会実行委員会事務局であるトヨタ博物館担当者より、概要説明と参加登録の呼びかけがなされた。

《記念講演会》

総会終了後、記念講演会を実施した。

演題：「博物館法改正と学芸員—博物館法改正の骨子と今後の課題—」

講師：桜美林大学 教授 浜田弘明氏

参加者：66 館 99 名

今回の講演会は、2022 年度に行われた約 70 年ぶりの博物館法改正をうけ、その具体的な内容と今後の見通しについて、協会加盟館（園）での確な情報を共有し、問題意識や課題について考えるきっかけを得たいという目的で開催した。特にそこで専門職として携わる学芸員について、法改正の中で求められるものや立場が、どう変化していくのかが注目点であり、この点についても、情報が求められていると考えていた。

講師の浜田先生は、1982 年に神奈川県相模原市教育委員会に学芸員として採用され、以来相模原市立博物館の開館と運営に関わってこられた。その後 2002 年より桜美林大学において博物館学を主に教鞭を執られている。2021 年からは文化庁の文化審議会博物館部会、法制度のあり方に関するワーキンググループ座長を務められており、2022 年度の博物館法改正に直接携わられた。ご自身の学芸員としての現場経験を踏まえつつ、制度を作る立場となって普遍的・先見的な活動をされてきた先生は、今回のテーマにふさわしいと考え、ご多忙を承知でご講演をお願いしたところ、快諾いただいたものである。

ご講演はまず、今回の法改正への経過をたどるお話からであった。そもそも博物館法が規定する「登録博物館」は法改正前、全国の博物館数の 16%に過ぎず、「博物館相当施設」を加えても、78%の館園は博物館法の適用を受けていないという現状があった。法律というのは、普段の生活や活動の中で意識することはほぼないが、非常時や危機的な事態の際、頼りになるのは「法の力」である。近年さまざまな転機を迎えている「博物館」の現状に則し、また未来を見据えての改正検討が行われることとなった。また近年成立した、「文化芸術基本法」「文化観光推進法」といった関連法の成立、「文化財保護法」の改訂などにより、関連分野の施策を取り込むことも必要とされた。

これらをふまえて、今回の法改正で問題・課題として残った点を先生は挙げられた。このお話が大変興味深かった。中でも印象に残ったのは、まず、「文学館・科学館・動物園・水族館・植物園等も博物館であることの明確化」であった。改正前は明文化されていなかったこのことについて、先生方ワーキンググループの議論は、育成に根拠をおくこれらの施設をいかに明確に位置付けるかについて検討を重ねられたが、結果的に確定的表現を見出すことができなかつたとのこと。また、「登録制度」自体の枠組みを変更する検討も行われたが、実現できなかつたこと。確かに法の及ぶ対象を規定することは定義上必要なことであるが、この規定を「登録」以外の基準でおこなうことは現行困難であったということだろう。

これらの問題点を抱えつつ、改正法では登録制度の間口をより広げる施策が強化されている。財政支援や手続きの負担軽減の他、小規模館の支援を目的とした大規模館との連携強化も謳われている。まさに全国の館園の現状を俯瞰しつつ、細かい個々の施策まで目を届かせて条項が組み立てられていること、そして最終的に法文に表されなかつた様々な議論が存在したことを拝聴することができたのは貴重な経験である。

次に先生が語られたのは、改正法における学芸員の立ち位置である。法文本体には入れられなかつたが、改正付帯決議に「学芸員については、文化審議会の答申においても中長期的な課題とされたこ

とから、学芸員に求められる専門的な能力を再定義するなど学芸員の在り方について制度的な検討を行い、必要な見直しを行うこと。」という一文が入れられた。学芸員の専門性については、日本学术会议から「専門学芸員」「総合学芸員」といった、職務内容を反映した呼称によってより尊重すべきという提案がされていた。一方で博物館の現場としては、近年非常勤職員の割合が増加し、限られた数と立場の職員で館務を回さねばならない現実があり、その中で学芸員の専門性や立場をいかに守り、保証していくのか。これは本当に難しい課題である。現場では「雑芸員」と言われて久しく、近年は動画配信までこなす職員が多い中で、「専門職」としてどうあるべきか。そもそも学芸員に求められる専門性とは何かを客観的に考えねばならないのではと気づかされた。これは現場を知る私たちが、今後を担う若手のために声を上げねばならない問題でもある。

少しずつではあるが、この法改正をきっかけに、博物館をとり巻く環境が学芸員という人的資源を中心に改善していくことを期待したい。そして何より、赤裸々に近い法改正のドラマの内情を教えてください、現場のために法改正の場で戦ってくださった浜田先生に心より感謝申し上げたい。

(名古屋市博物館 岡村弘子)



講演会の様子

役員、実行委員の一部が下記のとおり交替した。引き続き、会員各位のご協力のほど、よろしくお願いいたします。

令和 6(2024)～令和 7(2025)年度 愛知県博物館協会役員

※任期は令和 6 年 4 月から令和 8 年 3 月まで

役職名	館（園）名	代表者名	備 考
理事	名古屋市博物館	館長 近藤 善紀	会長 令和 6 年度より交代
理事	トヨタ博物館	館長 布垣 直昭	副会長
理事	稲沢市荻須記念美術館	館長 長谷川 隆	令和 6 年度から一宮市三岸節子記念美術館より交代
理事	熱田神宮宝物館	館長 芹田 治	令和 6 年度より新任
理事	岡崎市美術博物館	特任館長 榊原 悟	継続
理事	弥富市歴史民俗資料館	館長 伊藤 隆彦	令和 6 年度から愛西市佐織歴史民俗資料室より交代
理事	昭和美術館	館長 柳澤 幸輝	継続
理事	刈谷市歴史博物館	館長 田代 英徳	継続
理事	豊田市美術館	館長 高橋 秀治	令和 6 年度より新任
理事	武豊町歴史民俗資料館	館長 山下 恵広	令和 6 年度からとこなめ陶の森より交代
理事	豊橋市自然史博物館	館長 坂本 博一	令和 6 年度から豊橋市美術博物館より交代
理事	名古屋市科学館	館長 大路 樹生	継続
理事	博物館明治村	館長 中川 武	継続
理事	新城市設楽原歴史資料館	館長 湯浅 大司	継続
理事	愛知県陶磁美術館	館長 佐藤 一信	令和 6 年度より交代
監事	徳川美術館	館長 徳川 義崇	継続
監事	愛知県美術館	館長 平瀬 礼太	令和 6 年度より交代

令和6（2024）年度 愛知県博物館協会実行委員・事務局

館（園）名	実行委員氏名	備考
名古屋市博物館	岡村 弘子	
トヨタ博物館	藤井 麻希	
稲沢市荻須記念美術館	木全 裕子	2024年度より実行委員交代
熱田神宮宝物館	内田 雅之	
岡崎市美術博物館	安本 翔音	2024年度より実行委員交代
弥富市歴史民俗資料館	大坪 恵里佳	2024年度より実行委員交代
昭和美術館	後藤 さち子	
刈谷市歴史博物館	山下 智也	
武豊町歴史民俗資料館	山下 恵広	2024年度より実行委員交代
豊田市美術館	天野 一夫	2024年度より実行委員交代
豊橋市自然史博物館	菊地 波輝	2024年度より実行委員交代
名古屋市科学館	堀内 智子	
博物館明治村	松井 美保	2024年度より実行委員交代
新城市鳳来寺山自然科学博物館	西村 拓真	2024年度より実行委員交代
愛知県陶磁美術館	鮫島 由佳	
徳川美術館	長谷川 円	
愛知県美術館	石崎 尚	
名古屋市博物館	村木 誠	名古屋市博物館副館長
同上	原田 俊治	同館総務課長
同上	小森 由起子	同館総務課 課長補佐
同上	小笠原 直子	同館総務課
同上	武藤 真	同館学芸課長
同上	津田 卓子	同館学芸課 課長補佐
同上	島村 桂子	同館学芸課

令和6年度東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部理事会及び総会のご報告

令和6年度の東海地区博物館連絡協議会及び日本博物館協会東海支部理事会及び総会は、令和6年8月2日（金）に山梨県立博物館で開催された。

当日の概要は以下のとおりである。

参加者内訳（総会）：山梨県博協 24名（うち山梨県立博物館 11名）、静岡県博協 2名、愛知県博協 2名（うち1名オンライン参加）、岐阜県博協 1名、神奈川県博協 4名、日本博物館協会 1名、来賓 1名 以上 35名

- 議題1 令和6年度理事及び監事の選任について
- 議題2 令和5年度事業報告及び決算報告について
- 議題3 令和6年度事業計画及び予算案について
- 議題4 令和7年度開催県について
- その他 日本博物館協会の主要事業説明
60周年記念事業について

議題2において、理事会で、令和4・5年度監事であった名古屋市科学館より、2年にわたる決算報告に関して書類に多くの不備が認められたため、注意勧告とともに決算資料作成のためのマニュアルが提出され、理事に共有された。当マニュアルは今後各年度の事務局で改善を重ねながら正しく引き継いでいくことで合意し、総会の場でもこのことが報告された。

議事については議案どおり全て承認された。令和7年度の開催県は神奈川県で承認された。

その他、日本博物館協会の半田昌之専務理事より博物館法改正後の状況等についてコメントをいただいた。また60周年事業として作成したスマホ版サイト「東海5県ミュージアムおでかけガイド」に関し、完成報告と利用状況の報告があった。

総会後は、亀井大輔氏（株式会社山梨中央銀行学芸員）による講演会「貨幣の変遷と新紙幣に描かれた人物」が開催され、その後施設見学会となった。

散会後は情報交換会も開催された。

（名古屋市博物館 岡村弘子）



講演会風景

表紙館のご紹介

■ 豊田市博物館

【開館時間】

午前 10 時から午後 5 時半まで
(入場は午後 5 時まで)

【休館日】

月曜日 (祝日は開館)、年末年始、展示替え期間

【入館料】

常設展 一般 300 円、高大生 200 円

中学生以下、豊田市内在住の方・障がい者手帳をお持ちの方と
その介添者 (1 名) は無料 (要証明)

企画展観覧料は企画展ごとにご案内します。

【所在地】

〒471-0034 豊田市小坂本町 5-80

TEL: (0565) 85-0900

<https://hakubutsukan.city.toyota.aichi.jp>

【交通手段】

名鉄三河線「豊田市」駅、愛知環状鉄道「新豊田」駅下車。徒歩 15 分

【駐車場】

あり



外観



ジオラマ



むかしの家

「愛知の博物館」 No.119

発行日 令和 6 年 9 月 27 日

編集・発行 愛知県博物館協会

〒467-0806

名古屋市瑞穂区瑞穂通 1-27-1

名古屋市博物館内

TEL. 052-853-2655